

しんじゅ 新樹

「新樹」=水と緑のまちをイメージし、男女平等の葉が青々と茂るようという願いを込めました。

- ・ **男女共同参画週間を終えて** アンケート結果比較 平成13年▶17年 ……P2
～条例制定、基本計画策定を経て、市民の男女共同参画に対する意識の変化は?～
- ・ おじやまインタビュー
＜グループ＞ ……P5
カドリーベア・デン・イン・ジャパン
＜ひと＞ ……P6
「夏休み子ども記者」企画
列車区運転士 のぶさわまなみ 信澤真美さん・中村奈津希さん
看護師 たなかひろし 田中寛さん
- ・ 海外レポート～チュニジアからの手紙①～ ……P8
- ・ 男女共同参画室だより
男女共同参画相談室 平成16年度相談は109件
平成17・18年度 前橋市男女共同参画審議会
委員を委嘱
編集後記



上毛電気鉄道(株)運転士のお二人と子ども記者のみなさん

* 男女共同参画

「参加」は仲間になることで、「参画」は方針決定の場に加わることです。

女性と男性が、社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に共に参画し、喜びも責任も分かち合う社会を目指しましょう。

男女共同参画週間を終えて

アンケート結果比較 平成13年▶17年

条例制定、基本計画策定を経て、前橋市民の男女共同参画に関する意識



回答状況 320枚のアンケートから

それぞれの回答状況は以下のとおり。

回答者数（性別）

	平成13年度	平成17年度
女性	239人 (50.4%)	176人 (55.0%)
男性	235人 (49.6%)	144人 (45.0%)
計	474人	320人

アンケートは市役所1階ロビーで平日実施。回答は30代の男女と20代・50代の女性、60代の男性が多かった（図1）。



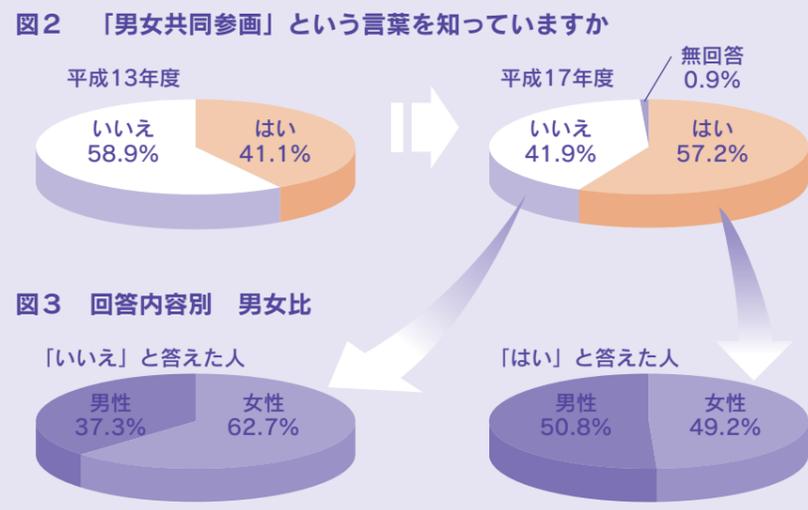
「男女共同参画」の周知度

4年間で16%アップ

平成13年度と比較すると、「はい」と「いいえ」の割合がほぼ逆転して、「男女共同参画」という言葉が周知されてきている（図2）。

参考までに「男女共同参画に関する世論調査」（平成16年11月内閣府）では、「男女共同参画に関する用語の周知度」として「『男女共同参画』という言葉を見たり聞いたりしたことがあるか」という問いに対し、「ある」と答えた人の割合は52.5%であった。

また、性別で見ると、「はい」と答えたのは、男女ほぼ同率だが、「いいえ」と答えたのは女性が多かった（図3）。



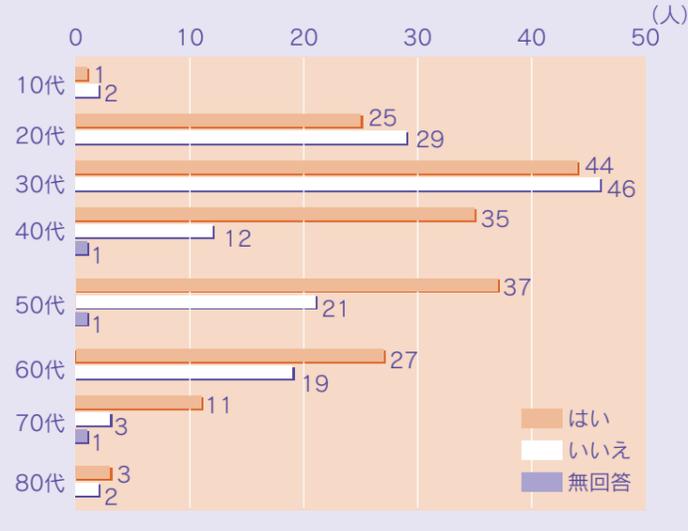
の変化は？



平成11年6月23日に男女共同参画社会基本法が公布・施行されたのに伴い、6月23日から一週間は「男女共同参画週間」となっています。前橋市でもこの間、市役所1階ロビーで男女共同参画に関する資料の展示を行い、新樹編集委員の協力により、市民アンケートを実施し、320枚のアンケートが集まりました。

今回は、平成13年に行った同様のアンケート結果と比較し、平成15年の「まえばし男女共同参画推進条例」制定、平成16年の男女共同参画基本計画「まえばしWindプラン2004」策定を経た、4年間で市民の意識がどう変化しているかを見てみました。

図4 「男女共同参画」という言葉を知っていますか（年代別）



年代別に見ると、20代・30代では「はい」と「いいえ」の割合はほぼ同数だが、40代以上ではいずれも周知度は半数を超え、特に40代では約4人に3人が「はい」と答えている。（図4）



アンケートにご協力いただきました



イラストを用いた展示が好評でした

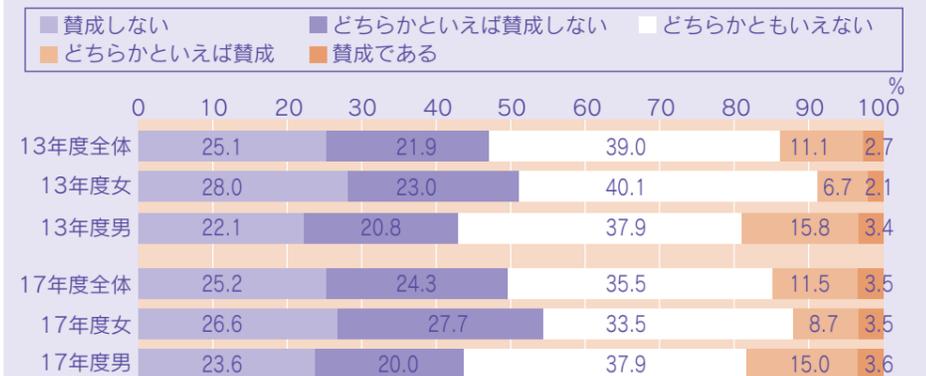
「固定的役割分担意識」について

否定派・肯定派、ともに伸び

「男は仕事、女は家庭」という考え方について「賛成しない」「どちらかといえば賛成しない」と『固定的役割分担』に否定的な回答は、平成13年度に対し、平成17年度では全体で2.5%伸びているが、「賛成である」「どちらかといえば賛成」も1.2%伸びている（図5）。

中でも、女性の『固定的役割分担』に肯定的な回答が3.4%も増えているのが特徴的である。

図5 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか



市民のこえ



自由な意見の一部を紹介します

(20代女性)
家庭を持ったらお互い協力し合えないとうまくいかないと思います。私の父が、全て母にまかせて仕事も家庭もいっぱいいっぱい大変な姿を見てきたので。

(30代女性)
もっと女性が働きやすいサポート体制を整えて下さい。

(30代男性)
男だから、女だからでなく、一人一人の人間として考えていくことを大切にすべきだと思います。

(30代女性)
ラクをしたい女性の意識をどう変えるかが一番大変だと思う。男性の意識を変えるよりも女性たちがどこまで同感できるかで、女の敵は女なのかも？

(30代男性)
男性の意識もさることながら、女性自身も男女共同参画意識を強く認識してほしいと思う（特に職場において）。

(20代男性)
今後の社会において知識だけでなく、実践が必要と考えます。男女どちらかが上というのではなく、人として協力し合うことが、家庭でも社会でも大切だと考えます。そのためにも、「女性が社会に出ること」が共同参画ではなく、協力し合うことこそが男女共同参画という意識を持てる運動が必要ではないでしょうか。

(50代女性)
女性の職場進出で家事の負担が女性に重くなっていると思いますので、男性も同じように家事を引き受けるべきだと思います。

(40代男性)
展示物、資料わかりやすいと思いました。日頃感じていること、世の人々の意識を変えようということなので仕方ないかもしれませんが、力みを感じてしまいます。お笑い系も交えて一つお願いします。

(20代男性)
母子家庭などは優遇されていますが、父子家庭にもそのような制度はあるのでしょうか？男性はなかなか利用しづらい、あるいはそういう空気があるから知らなかったのでしょうか。

(70代女性)
一般の家庭女性には情報が届かないことが多いと感じています。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました

まとめ アンケート調査の結果、周知度は年齢層及び男女に多少差はあるものの、知識・認識はこの4年間で着実に浸透してきているように思われます。また、「男は仕事、女は家庭」という考え方にも、男女の別なく、お互いに協力し、社会や家庭を構築できることが望ましいとの考えがうかがえます。

今後も「新樹」を通して、男女共同参画について理解していただけるよう、一層努力していきたいと考えています。

おじさまインタビュー <グループ>

カドリーベア ・デン・イン・ジャパン (CBDJ)

※「カドリー=抱きしめたくなるほどかわいい」
「デン=支部」



素敵な出会いを（前列中央代表の竹澤さん）

「テディベア」—このぬいぐるみの持つ可愛らしさや温もりを通して、人々の心を癒したい—アメリカに本部を置くボランティア団体の日本支部として、1999年に設立。現在日本で唯一の支部ながら、会員は全国に約80名、男性も約1割を占めます。

ベア作りの月例会では、会員があらかじめ縫いあがった各パーツに綿を詰め、一針一針心をこめて形にしていきます。参加していた男性会員は、「ここに来る前は、ぬいぐるみ好きの珍しいおじさんでしかなかった。ここでは、自分の趣味が社会的に価値ある活動につながるのがとても嬉しい。マイペースで長く続けたいですね。」と、ピンクのベアを手に話してくれました。代表の竹澤さん



出番はまだかな？



心をこめて…

は、「活動を通して、社会の一員として役に立てる喜びを見いだす女性も多いですよ。」と言います。遠方で月例会に来られない会員は、型紙からの裁断やキットを用意したり、キットを預かって自宅で作ったりという形で活動している人もいるとのこと。

こうして作られたベアは、寂しい思いをしている子どもやお年寄り、入院患者の方々、DV被害者の保護施設などに贈られ、安らぎや励ましといった精神面のケアをサポートします。ベアの良いところは、いつでも触れたり抱いたり話しかけたりできること。訪れた施設で体いっぱいに喜びを表現する子ども達の姿や、乱暴だった子が抱いて寝ていたなどの話から、会員の皆さんは逆に元気と感動をいただくと言います。

月例会では材料費千円を払い、飛び込みでベア作りを体験して持ち帰ることもできます。「手先が器用でなくてもいいんです。心の痛い・悩みのある人はベアを作ってみませんか。幸せな人はベアを通して少し幸せを分けてくれませんか。」と竹澤さん。CBDJではベアのプレゼントを「養子縁組」と呼び、縁を大切にしています。「人に何かをしてあげるだけでなく、この活動で誰もが素敵な出会いをして欲しい。」という言葉に活動の原点を見た思いでした。

主な活動

1. ベアの製作
2. つくったベアを施設や学校・病院などに寄付
3. 親善大使ベアを通して、海外の病院や施設・学校との国際交流などをサポート

ベア作り月例会

日時■毎月第三土曜日午後1～4時（3月、8月、12月はお休み）
場所■県庁昭和庁舎1階 NPOボランティアサロンぐんま

ベアプレゼント希望・入会・活動の問い合わせは…

代表者■竹澤 泰子さん (TEL027-234-7198)
E-Mail■QK2Y-TKZA@asahi-net.or.jp
ホームページ■ <http://www.ne.jp/asahi/gbw/cbdj/>
年会費■2,500円

おじやまインタビュー ＜ひと＞

今回は、男女共同参画社会について関心を持ってもらうため、「夏休み子ども記者」の企画を実施。市内の小学生6人が、7月22日・25日・29日の3日間で、このコーナーの企画・取材・編集の体験を行いました。



のぶ さわ まな み
信澤 真美さん(右)
なか むら な つ き
中村奈津希さん(左)

列車区運転士：上毛電気鉄道(株)

いつ、何がきっかけで運転士になったのですか？

信澤さん・中村さん 運転士になる前に、上毛電気鉄道(株) (以下「上電」)の駅で営業係員をしていましたが、会社から「運転士をやってみませんか。」という話をいただいたのがきっかけです。(上電では、女性のソフトな接客を男性にも見習って欲しいと、女性を積極的に採用しているそうです。)

運転士の仕事をしています、楽しいこと、困ることは、何ですか？

信澤さん 沿線の人が手を振ってくれるのが楽しいです。困ることは、雨が降ると、レールがぬれてブレーキのききが悪くなるので、気を使いますね。
中村さん シャ断機の無い踏切で、一時停止をしない高校生がいるので、一時停止をしてもらいたいです。

異性の中で働いていてつらいと思ったことはありませんか？

信澤さん・中村さん 初めは不安もありましたが、男性運転士さんから仕事の話も聞いていたし、職場のみなさんがやさしくして下さいだったので、つらいと思ったことはありません。

男の人がしそうな仕事をしています何か言われたことはありませんか？

中村さん (運転士が女性で) 驚かれることもあります、「がんばって下さい。」「応援しています。」など、励ましの言葉をいただくとうれしいです。

これからもこの仕事を続けていきたいですか？

信澤さん 運転士の免許を取るのに一年もかかったし、なかなかやれる仕事ではないので続けていきたいです。
中村さん やりがいのある仕事なのでやれるところまで続けていきたいです。

子ども達に贈るメッセージがあったらお願いします。

信澤さん 免許を取る前は知識も何もなくて、不安でした。でも、同期の社員と一所懸命勉強して取ることができました。がんばると、その分結果が出てきます。みんなもがんばって結果を出して欲しいです。
中村さん 自分たちの持った夢に向かって、何ごとにも挑戦する気持ちを忘れないで下さい。



た なか ひろし
田中 寛さん
看護師：前橋広瀬川クリニック

いつ、何がきっかけで看護師になったのですか？

私は、以前電機屋で働いていましたが、28歳の時、仕事中に屋根から落ち、足を骨折して入院してしまいました。その間、病院の方々がとても親切にして下さって、後遺症が残るかもしれないほどの大ケガが治りました。看護師さん達の心のこもった仕事を見て、この仕事なら一生続けられると思い、看護師になろうと決心しました。昼、電機屋の仕事を続けながら、夜、看護師になるための勉強をしました。

看護師の仕事をしています、楽しいこと、困ることは、何ですか？

楽しいことは、みんなで協力し、何かを行うことです。
困ることは、同じ事を逆に考えると、相談してからでないと、勝手には動けないところです。

異性の中で働いていてつらいと思ったことはありませんか？

実はないんです。この職場では、誰かがつらいと思ったことは、みんなで助け合っているもので、とても楽しいです。

女の人がしそうな仕事をしています何か言われたことはありませんか？

ないです。高校のころ、看護師になりたいと言っていた男の子がいて、どうして女の人がする仕事を男の子がするのか？と自分も思っていました。でも、実際になってみたら力仕事もあるし、男の人の目を見た感覚も大事だと感じます。もっと男の看護師が増えてもいいと思います。

これからもこの仕事を続けていきたいですか？

看護師は直接人を助ける仕事で、本当に困っている人を助けているという実感を持てる仕事です。続けられるならずっと一生続けたいです。

子ども達に贈るメッセージがあったらお願いします。

病院の世話にならないように、けがと病気には気を付けて健康な体でいて下さい。
人を助ける仕事を目指すなら、看護師はすばらしい仕事です。男の子も恥ずかしがらないで、ぜひ目指して欲しいです。

“夏休み子ども記者” こんな日程でした

1 日目



男の仕事、女の仕事」について考えたり、インタビューの質問項目を話し合ったりしたよ。

2 日目



上毛電気鉄道(株)と前橋広瀬川クリニックにインタビューに行ったよ。

3 日目



記事のまとめとレイアウトについて、みんなで話し合ったよ。

子ども記者のみなさん お疲れ様でした

「夏休み子ども記者」を体験して

ぼくは、この3日間、とてもいい体験をしたと思いました。
なぜなら、電車の運転士さんや看護師さんにインタビューできたりして、世の中のいろいろな仕事のことがあったからです。
また、こんな機会があったら、もっとやってみたいな、と思いました。
6年 金井 一成



とても楽しかったです。友達もたくさん出来たので良かったです。インタビューは、とても楽しく、レイアウトなどの、本当に記者らしい体験ができたので、参加して良かったと思っています。
5年 齋藤 恵奈

私は、記者の体験は初めてでした。最初は不安な事ばかりでドキドキしました。でも、友達と教えあつたりしたので、不安ではなくなりました。初めて取材に行った時は、どのくらい声を大きくしたらいいかわからなかったけれど、何回か取材するうちに慣れてきました。
6年最後の夏休み、いい思い出ができて、とても良かったです。
6年 佐藤 京

こういう経験は、初めてだったので楽しかったです。知らないことや、よく分からないことがたくさんあり、とても勉強になりました。とくに運転士さんや、看護師さん達は、とても大変な思いをしながらも、この仕事が好きなんだなと思いました。
私も、好きなことを見つけてがんばりたいと思いました。
6年 高橋 彩佳

子ども記者の3日間は、学ぶ事がたくさんあり、友達も出来ました。最初の1日目はドキドキして、どんな人がいるのかな？と考えていました。実際会ってみるとみんなおもしろくて、楽しい3日間が過ごせたらうなーと思いました。インタビューする時もドキドキしました。
みんなで過ごした3日間は、本当に楽しかったです。
6年 浪内 星佳

最初は少し難しいのかなと思いましたが、集まった人たちとも日に日に仲良くなっていき、とても楽しくなりました。
この3日間でわかったことは、「他の人と協力し、仲良く活動する」という事です。
6年 堀口 諒介



海外レポート ～チュニジアからの手紙①～

海外の男女共同参画事情や海外で活躍する“前橋人”について皆さんに知っていただくため、今年4月からJICA（※）シニアボランティア（SV）としてチュニジアに派遣されている笛木美子さんのレポートを、4回にわたりお送りします。笛木さんは幼児教育に長年携わった経験を生かし、2年の任期中で新設幼稚園の立ち上げや、運営・教育方針への助言など幼児教育アドバイザーとして多岐にわたり活動される予定です。

前橋の皆様お元気ですか？私がチュニジアに来てUNFT(チュニジア女性連盟)に配属され、早6か月が経過しました。この国は女性の社会進出がめざましくイスラム圏でトップとされていますが、公立幼稚園はなく、私立幼稚園数も限られているため、UNFTでは現状打開と働く女性支援の目的で全国に40ヶ所以上の幼稚園を開設していますが、幼稚園教諭として専門教育を受けた人はほとんどなく、早急な人材育成と指導が求められています。



笛木さんと園児たち

さて、現地調査に赴いたUNFT運営幼稚園での初日に“折り紙遊び”を教えたところ、園児たちは日を追うことに興味を増し、新聞紙で作った作品を「ヨシコ、おみやげ！」と持ってきてくれるまでになりました。その後、日本の童謡やお遊戯などを教えたのですが、異文化に対する彼らの興味と知識の吸収力は素晴らしく、“砂漠に水まきをするが如し”と感じます。アラビア語しかわからない園児たちと、片言のアラビア語と日本語のチャンポンで悪戦苦闘の私でしたが、ようやく園児の名前と個性がわかるようになった6月30日に園では終業日を迎え、寂しさを感じている現況です。(続)

※JICA(ジャICA)：独立行政法人国際協力機構

チュニジア
って
どこにあるの？



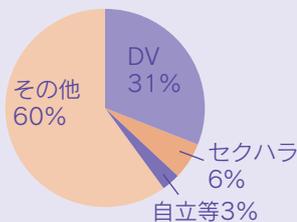
首都チュニス、面積は日本の約半分。
人口960万人の共和制国家です。



男女共同参画室だより

男女共同参画相談室 平成16年度 相談は109件

平成16年度の相談内容の内訳は、下図のとおりでした。その他の相談として、夫婦・離婚関係、親子関係、金銭問題などが寄せられています。



相談室では、配偶者からの暴力、セクハラ等の悩みをお持ちの方からの相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

相談時間 月～金 8:30～17:15
場所 前橋市本町一丁目5-2
職員研修会館2階男女共同参画相談室
電話 027-890-6520
(直通)

平成17・18年度 前橋市男女共同参画審議会委員を委嘱



高木市長から委嘱状が渡されました

7月1日、委嘱式が行われました。

2年の任期中、男女共同参画の推進施策の実施状況について審議していただく予定です。

編集後記

♪今回号の特集のアンケートでは、皆さん気持ちよく協力していただき、感激しました。子ども記者を交えた企画では、キラキラした子どもたちの瞳が印象的でした。他にもぬいぐるみの魅力を再認識したことも。新たに海外からの企画も始まりました。これからも「新樹」にご期待ください。(梅山)
14号のご意見・ご感想は男女共同参画室まで。

発行日■平成17年10月1日 発行■前橋市 生活課 男女共同参画室 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2 職員研修会館2F
直通電話■890-6517 FAX■221-6200 メールアドレス■sankaku@city.maebashi.gunma.jp

編集■「新樹」編集委員

「新樹」は前橋市のホームページからでもご覧いただけます。気軽にアクセスしてみてください。